

【レイアウト】

1. 標準インターフェースレイアウト

(注1) P (半角型)、X (キリリキ型)、9 (数値型)、K (漢字)、M (外字対応 (Unicode))

(注3) GS: オールスペース、GZ: オールゼロ

(注2) 有のとき○、無のとき×、他情報から編集可能△

(注4) ○: 必須、×: 任意、△: 条件付き必須

表別1-1 家屋バッチ入力標準インターフェースレイアウト

項番	項目名称	開始位置	長さ (byte)	形式 (注1)	内容の説明	データ保有有無(注2)	初期値 (注3)	値の範囲等		必須任意 (注4)
								最小値	最大値	
1	物件キ-1	1	50	X	家屋物件番号を手動採番する場合は、スペースを設定。以外は、物件キ-1～物件キ-3の組合せで取込処理回次毎に一意となる値を左詰で入力した後スペースを付加。		GS			△
2	物件キ-2	51	50	X			GS			△
3	物件キ-3	101	2	X		家屋物件番号を手動採番する場合は、スペースを設定。上記以外の場合(自動採番時) (1)主棟、附属家を一括登録する場合 主棟は"00"、附属家は"01"からの連番を設定。 (2)上記(1)以外 "00"を設定。		GS		
4	家屋物件番号	103	10	9	主キ項目。 自動採番する場合は、全桁ゼロを設定。 手動で付番し10桁に満たない場合は、前ゼロ付加。			0000000000	2100000000	△
5	同棟家屋物件番号	113	10	9	(1)家屋物件番号を自動採番する場合 ①主棟の新規入力時(附属家の一括入力含む) 全桁ゼロを設定する(取込時に自動採番した家屋物件番号と同一値が設定される)。 ②上記①以外(附属家の単入力時) 主棟の家屋物件番号と同一値を設定(10桁に満たない場合は、前ゼロ付加)。 (2)上記(1)以外の場合 主棟の家屋物件番号と同一値を設定(10桁に満たない場合は、前ゼロ付加)。			0000000000	2100000000	△
6	旧自治体コード	123	6	X	合併の場合、旧自治体コードを設定(必須)。	△				△
7	所在地番1	129	6	X	当該家屋の所在(大字コード)。		GS	CHko_固定大字に存在		○
8	所在地番2	135	6	X	当該家屋の所在(小字コード)。		GS	所在地番1との組合せが、CHko_固定小字に存在		○
9	所在地番3	141	6	X	当該家屋の所在(本番)		GS			○
10	所在地番5	147	6	X	当該家屋の所在(枝番)		GS			
11	所在地番6	153	6	X	当該家屋の所在(孫番)		GS			
12	所在地番7	159	6	X	当該家屋の所在(曾孫番)		GS			
13	所在地番表記コード	165	2	X	当該家屋の所在("第"、"甲"等の表記コード)。		GS	CHko_所在地編集用地番区分に存在		
14	地番名漢字	167	50	K	所在地番の本番以下の漢字表記。強制的に設定する場合、左詰で入力した後スペースを付加。以外はスペースを設定(取込時に自動設定する)。		GS	最大25文字		
15	登記名義人個人番号	217	10	X	宛名登録済みの個人番号を設定。共有構成の場合、共有登録済みの共有構成番号を設定。					○
16	登記名義人氏名カナ	227	100	X	登記名義人のカナ氏名を左詰で入力した後スペースを付加。未入力時、共有以外の場合、宛名の情報より自動設定。		GS			
17	登記名義人氏名漢字	327	200	M	登記名義人の漢字氏名を左詰で入力した後スペースを付加。未入力時、宛名または、共有構成の情報より自動設定。		GS	最大100文字		
18	登記名義人住所	527	280	M	登記名義人の住所を左詰で入力した後スペースを付加。未入力時、宛名情報より自動設定(分割共有、区分所有を除く)。		GS	最大140文字		
19	納税義務者個人番号	807	10	X	宛名登録済みの個人番号を設定。共有構成の場合、共有登録済みの共有構成番号を設定。					○
20	納税義務者所有者区分	817	1	X	"1":所有者 "2":現所有者 "3":みなす所有者 "4":質権者 "5":永地上権者 上記区分に該当しない場合、"0"を設定。			0	5	○
21	家屋番号	818	100	K	家屋番号を左詰で入力した後スペースを付加。(当該項目の設定有無で登記物件か否かの判定を行うため、登記物件の場合は必ず設定すること。)		GS	最大50文字		△1
22	建物番号	918	80	K	建物番号を左詰で入力した後スペースを付加。		GS	最大40文字		
23	建築年月日	998	10	X	当該家屋の建築年月日(和暦)を設定。					○
24	登記用途1	1008	2	X	登記上の用途を設定。複合用途の場合、1～3の順に設定。		GS	CHko_家屋登記名称に存在(登記種類区分="1"(登記用途))		△1
25	登記用途2	1010	2	X			GS			
26	登記用途3	1012	2	X			GS			
27	構造登記コード	1014	2	X	登記上の構造を設定。		GS	CHko_家屋登記名称に存在(登記種類区分="2"(登記構造))		△1
28	屋根登記コード	1016	2	X	登記上の屋根を設定。		GS	CHko_家屋登記名称に存在(登記種類区分="3"(登記屋根))		
29	階層地上登記コード	1018	2	X	登記上の地上部分階数を設定。2桁に満たない場合、前ゼロを付加し、地上部分が存在しない場合は全桁ゼロを設定。		GS	00	99	
30	階層地下登記コード	1020	2	X	登記上の地下部分階数を設定。2桁に満たない場合、前ゼロを付加し、地下部分が存在しない場合は全桁ゼロを設定。		GS	00	99	
31	登記1F床面積	1022	9	9	登記上の1F部分の床面積を設定。9(7).99で編集した結果を100倍した整数値を設定。			000000000	999999999	

32	登記1F以外床面積	1031	9	9	登記上の1F部分以外の床面積を設定。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。			00000000	99999999	
33	登記床面積	1040	9	9	登記上の1F部分、1F部分以外の合計床面積を設定。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。			00000000	99999999	
34	登記年月日	1049	8	X	登記年月日を西暦8桁(YYYYMMDD形式)で設定。月(MM)、日(DD)が1桁の場合、十位部分にゼロを付加。					△1
35	登記事由	1057	2	X	登記事由を設定。		GS	CHko_登記事由に存在(土地家屋区分="2"(家屋))		△1
36	登記原因年月日	1059	10	X	当該家屋の登記原因年月日(和暦)を設定。					
37	原因事由コード	1069	2	X	登記原因を設定。			CHko_原因理由登記区分に存在(土地家屋区分="2"(家屋)且つ、登記事由=項番(36)登記事由)		△1
38	所在地番21	1071	6	X	当該家屋の跨り所在1(大字コード)。		GS	CHko_固定大字に存在		△
39	所在地番22	1077	6	X	当該家屋の跨り所在1(小字コード)。		GS	所在地番21との組合せが、CHko_固定小字に存在		△
40	所在地番23	1083	6	X	当該家屋の跨り所在1(本番)		GS			△
41	所在地番25	1089	6	X	当該家屋の跨り所在1(枝番)		GS			
42	所在地番26	1095	6	X	当該家屋の跨り所在1(孫番)		GS			
43	所在地番27	1101	6	X	当該家屋の跨り所在1(曾孫番)		GS			
44	所在地番2表記コード	1107	2	X	当該家屋の跨り所在1("第"、"甲"等の表記コード)。		GS	CHko_所在地編集用地番区分に存在		
45	所在地番2地番名漢字	1109	50	X	所在地番2の本番以下の漢字表記。強制的に設定する場合、左詰で入力した後スペースを付加。以外はスペースを設定(取込時に自動設定する)。		GS	最大25文字		
46	所在地番31	1159	6	X	当該家屋の跨り所在2(大字コード)。		GS	CHko_固定大字に存在		△
47	所在地番32	1165	6	X	当該家屋の跨り所在2(小字コード)。		GS	所在地番31との組合せが、CHko_固定小字に存在		△
48	所在地番33	1171	6	X	当該家屋の跨り所在2(本番)		GS			△
49	所在地番35	1177	6	X	当該家屋の跨り所在2(枝番)		GS			
50	所在地番36	1183	6	X	当該家屋の跨り所在2(孫番)		GS			
51	所在地番37	1189	6	X	当該家屋の跨り所在2(曾孫番)		GS			
52	所在地番3表記コード	1195	2	X	当該家屋の跨り所在2("第"、"甲"等の表記コード)。		GS	CHko_所在地編集用地番区分に存在		
53	所在地番3地番名漢字	1197	50	X	所在地番3の本番以下の漢字表記。強制的に設定する場合、左詰で入力した後スペースを付加。以外はスペースを設定(取込時に自動設定する)。		GS	最大25文字		
54	区分所有按分率分子	1247	9	9	区分所有物件の場合の持分按分率分子。「覚え」項目。			00000000	99999999	
55	区分所有按分率分母	1256	9	9	区分所有物件の場合の持分按分率分母。「覚え」項目。			00000000	99999999	
56	備考	1265	640	X	備考(登記)を設定。		GS	最大320文字		
57	予備1	1905	4	X	予備1(登記)を設定。セットアップにて地番跨り筆数を登記情報として管理する場合、当該項目に地番跨り筆数を設定。(地番跨り筆数を管理しない場合は、スペースを設定)		GS	最大2文字		
58	予備2	1909	4	X	予備2(登記)を設定。		GS	最大2文字		
59	予備3	1913	10	X	予備3(登記)を設定。		GS	最大5文字		
60	予備4	1923	10	X	予備4(登記)を設定。		GS	最大5文字		
61	予備A	1933	4	X	予備A(登記)を設定。		GS	最大2文字		
62	予備B	1937	20	X	予備B(登記)を設定。登記管理システム連携(*3)を行う場合は、台帳番号(半角数値10桁)を設定。		GS	最大10文字		
63	予備C	1957	20	X	予備C(登記)を設定。登記管理システム連携(*3)を行う場合は、明細番号(半角数値10桁)を設定。		GS	最大10文字		
64	予備D	1977	40	X	不動産番号(半角数値13桁)を設定。		GS	最大20文字		
65	予備E	2017	100	X	登記地番を設定。		GS	最大50文字		
66	予備F	2117	400	X	登記所在を設定。		GS	最大200文字		
67	対象年度	2517	4	X	対象年度を西暦4桁(YYYY形式)で設定。					○
68	棟数カウントflag	2521	1	X	当項目で概要調書の棟数をカウントする場合は必須(*1)			0	1	△
69	種別現況コード	2522	2	X	現況の種別(経年減点補正率取得用)を設定。			CHko_現況種別に存在		○
70	現況用途A	2524	2	X	現況の用途を設定。		GS	CHko_現況用途に存在		
71	構造現況コード	2526	2	X	現況の構造を設定。			CHko_現況構造に存在		○
72	屋根現況コード	2528	2	X	現況の構造を設定。			CHko_現況屋根に存在		○
73	階層地上現況コード	2530	2	X	現況の地上部分階数を設定。2桁に満たない場合、前ゼロを付加し、地上部分が存在しない場合は全桁ゼロを設定。		GS	00	99	
74	階層地下現況コード	2532	2	X	現況の地下部分階数を設定。2桁に満たない場合、前ゼロを付加し、地下部分が存在しない場合は全桁ゼロを設定。		GS	00	99	
75	都市計画区分	2534	1	X	都市計画区分を設定。			FHko_都市計画区分に存在		○
76	市街化区分	2535	1	X	市街化区分を設定。			FHko_市街化区分に存在		○
77	非課税区分	2536	1	X	非課税区分を設定。			CHko_非課税codeに存在(土地家屋区分="2"(家屋))		○

78	現況1F床面積	2537	9	9	1F部分の現況床面積を設定。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。			000000000	999999999		
79	現況1F以外床面積	2546	9	9	1F部分以外の現況床面積を設定。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。			000000000	999999999		
80	現況床面積	2555	9	9	1F部分、1F部分以外の合計現況床面積を設定。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。			000000000	999999999		
81	併用住宅床面積	2564	9	9	居住部分の床面積を設定。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。			000000000	999999999		
82	経年減点補正率	2573	6	9	評価計算時に適用した当該年の経年減点補正率を設定。99.9999で編集した結果を10000倍した整数値を設定。			000000	999999		
83	需給事情補正率	2579	6	9	評価計算時に適用した当該年の需給事情補正率を設定。99.9999で編集した結果を10000倍した整数値を設定。 (注)補正を適用しない場合、010000(1.0)を設定。			000000	999999		
84	積雪補正率	2585	6	9	評価計算時に適用した当該年の積雪補正率を設定。99.9999で編集した結果を10000倍した整数値を設定。 (注)補正を適用しない場合、010000(1.0)を設定。			000000	999999		
85	寒冷補正率	2591	6	9	評価計算時に適用した当該年の寒冷補正率を設定。99.9999で編集した結果を10000倍した整数値を設定。 (注)補正を適用しない場合、010000(1.0)を設定。			000000	999999		
86	損耗補正率	2597	5	9	評価計算時に適用した当該年の損耗補正率を設定。9.9999で編集した結果を10000倍した整数値を設定。 (注)補正を適用しない場合、10000(1.0)を設定。			00001	10000		
87	損耗補正適用年度	2602	4	X	損耗補正の適用開始年度(西暦)を設定。損耗補正率を適用する場合は必須。		GS			対象年度	△
88	その他1家屋補正率	2606	5	9	評価計算時に適用した当該年のその他補正率を設定。9.9999で編集した結果を10000倍した整数値を設定。 (注)補正を適用しない場合、10000(1.0)を設定。			00000	99999		
89	その他1補正区分	2611	2	X	その他補正区分を設定。その他1家屋補正率を適用する場合は必須。		GS			CHko_その他補正区分に存在	△
90	その他2家屋補正率	2613	5	9	評価計算時に適用した当該年のその他補正率を設定。9.9999で編集した結果を10000倍した整数値を設定。 (注)補正を適用しない場合、10000(1.0)を設定。			00000	99999		
91	その他2補正区分	2618	2	X	その他補正区分を設定。その他2家屋補正率を適用する場合は必須。		GS			CHko_その他補正区分に存在	△
92	単位当再建築費	2620	10	9	単位当再建築費を設定。			0000000000	9999999999		
93	再建築費	2630	10	9	再建築費を設定。評価計算では、当フィールド(建物全体の再建築費)を使用。			0000000000	9999999999		
94	一点単価	2640	3	9	評価計算時に適用した当該年の一点単価を設定。9.99で編集した結果を100倍した整数値を設定。			000	999		
95	評価額	2643	10	9	当該年の評価額を設定。			0000000000	9999999999		△
96	前回の評価額	2653	10	9	過年度建築の物件でかつ、前基準時の価格との据置き判定が必要な場合、前回の評価額を設定。指定なき場合、据置き判定は行わず、理論評価額を決定評価額として計算。			0000000000	9999999999		
97	軽減コード	2663	2	X	軽減コードを設定。		GS			CHko_土地家屋軽減codeの当該対象年度に存在(土地家屋区分="3"(家屋軽減))	
98	軽減開始年度	2665	4	X	軽減の開始年度(西暦)を設定。適用期間の定めのある軽減(CHko_土地家屋軽減code.適用期間 > 0)を設定する場合、必須。		GS				△
99	軽減終了年度	2669	4	X	軽減の終了年度(西暦)を設定。		GS				
100	軽減対象床面積	2673	9	9	軽減対象床面積を設定。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。新築軽減(CHko_土地家屋軽減code.軽減種別="1")を設定する場合必須。			000000000		現況床面積	△
101	軽減コード2	2682	2	X	軽減コードを設定。		GS			CHko_土地家屋軽減codeの当該対象年度に存在(土地家屋区分="3"(家屋軽減))	
102	軽減2開始年度	2684	4	X	軽減2の開始年度(西暦)を設定。適用期間の定めのある軽減(CHko_土地家屋軽減code.適用期間 > 0)を設定する場合、必須。		GS				△
103	軽減2終了年度	2688	4	X	軽減2の終了年度(西暦)を設定。		GS				
104	軽減2対象床面積	2692	9	9	軽減2対象床面積を設定。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。新築軽減(CHko_土地家屋軽減code.軽減種別="1")を設定する場合必須。			000000000		現況床面積	△
105	減免コード	2701	2	X	減免コードを設定。		GS			CHko_土地家屋軽減codeの当該対象年度に存在(土地家屋区分="4"(減免))	
106	減免開始年度	2703	4	X	減免の開始年度(西暦)を設定。適用期間の定めのある減免(CHko_土地家屋軽減code.適用期間 > 0)を設定する場合、必須。		GS				△
107	減免終了年度	2707	4	X	減免の終了年度(西暦)を設定。		GS				
108	減免対象床面積	2711	9	9	軽減2対象床面積を設定。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。			000000000		現況床面積	
109	増改築区分	2720	2	X	増改築区分(新築、増築、改築を識別する区分)を設定。					FHko_増改築区分に存在	○
110	共同住宅区分	2722	2	X	共同住宅区分を設定。HIHOUSEから取込時は「マンション区分」の前1桁に"0"を付加した区分を使用。		GS			CHko_共同住宅に存在	

111	世帯数	2724	4	9	世帯数を設定。			0000	9999	
112	物件異動事由	2728	2	X	現況(評価)の異動事由を設定。			CHko_土地家屋異動事由に存在(土地家屋区分="2"(家屋)、固定対象77が"2="21"(新築) or "22"(増築))		○
113	物件異動年月日	2730	8	X	現況(評価)の異動年月日(西暦)を設定。					○
114	調査年月日	2738	8	X	当該家屋の現況調査年月日(西暦)を設定。		GS			
115	比準	2746	1	X	比準区分を設定。		GS	CHko_家屋比準区分に存在		
116	工法区分	2747	2	X	工法区分を設定。		GS	CHko_工法区分に存在		
117	決定分単位当評価額	2749	10	9	当該年の単位当評価額を設定。			0000000000	9999999999	
118	軽減戸数	2759	4	9	新築軽減を適用する際に、床面積要件に関するチェックに使用(共同住宅の場合は区画数)。軽減コードに新築軽減(CHko_土地家屋軽減code. 軽減種別="1")を設定する場合必須。			0000	9999	△
119	軽減戸数2	2763	4	9	同上(軽減コード2)			0000	9999	△
120	主たる現況用途	2767	2	X	複合用途時の主たる現況用途を設定(覚え)。		GS	CHko_現況用途に存在(*2)		
121	主たる用途の床面積	2769	9	9	複合用途時の主たる現況用途の床面積を設定(覚え)。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。			0000000000	9999999999	
122	主たる用途の評価額	2778	10	9	複合用途時の主たる現況用途の評価額を設定(覚え)。			0000000000	9999999999	
123	従たる現況用途1	2788	2	X	複合用途時の従たる現況用途1を設定(覚え)。		GS	CHko_現況用途に存在(*2)		
124	従たる用途1の床面積	2790	9	9	複合用途時の従たる現況用途1の床面積を設定(覚え)。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。			0000000000	9999999999	
125	従たる用途1の評価額	2799	10	9	複合用途時の従たる現況用途1の評価額を設定(覚え)。			0000000000	9999999999	
126	従たる現況用途2	2809	2	X	複合用途時の従たる現況用途2を設定(覚え)。		GS	CHko_現況用途に存在(*2)		
127	従たる用途2の床面積	2811	9	9	複合用途時の従たる現況用途2の床面積を設定(覚え)。9(7).99 で編集した結果を100倍した整数値を設定。			0000000000	9999999999	
128	従たる用途2の評価額	2820	10	9	複合用途時の従たる現況用途2の評価額を設定(覚え)。			0000000000	9999999999	
129	第16条該当個数A面積	2830	4	9	面積要件にて軽減に該当する場合の個数(覚え)。			0000	9999	
130	第16条該当個数B価格	2834	4	9	価格要件にて軽減に該当する場合の個数(覚え)。			0000	9999	
131	第16条該当個数C割合	2838	4	9	割合要件にて軽減に該当する場合の個数(覚え)。			0000	9999	
132	貸家フラグ	2842	1	X	貸家区分を設定。		GS	FHko_貸家区分に存在		
133	従前所在地番1	2843	6	X	当該家屋の従前所在(大字コード)。		GS	CHko_固定大字に存在		△
134	従前所在地番2	2849	6	X	当該家屋の従前所在(小字コード)。		GS	従前所在地番1との組合せが、CHko_固定小字に存在		△
135	従前所在地番3	2855	6	X	当該家屋の従前所在(本番)		GS			△
136	従前所在地番5	2861	6	X	当該家屋の従前所在(枝番)		GS			
137	従前所在地番6	2867	6	X	当該家屋の従前所在(孫番)		GS			
138	従前所在地番7	2873	6	X	当該家屋の従前所在(曾孫番)		GS			
139	従前所在地番表記コード	2879	2	X	当該家屋の従前所在("第"、"甲"等の表記コード)。		GS	CHko_所在地編集用地番区分に存在		
140	従前地名漢字	2881	50	X	従前所在地番の本番以下の漢字表記。強制的に設定する場合、左詰で入力した後スペースを付加。以外はスペースを設定(取込時に自動設定する)。		GS	最大25文字		
141	非課税事由コード	2931	2	X	非課税区分に"課税"を設定時、設定不可。以外の場合、必須。			CHko_非課税事由に存在(土地家屋区分="2"(家屋))		△
142	備考	2933	640	K	備考(現況)を設定。		GS	最大320文字		
143	予備1	3573	4	X	予備1(現況)を設定。		GS	最大2文字		
144	予備2	3577	4	X	予備2(現況)を設定。		GS	最大2文字		
145	予備3	3581	10	X	予備3(現況)を設定。		GS	最大5文字		
146	予備4	3591	10	X	予備4(現況)を設定。		GS	最大5文字		
147	予備A	3601	4	X	予備A(現況)を設定。		GS	最大2文字		
148	予備B	3605	20	X	予備B(現況)を設定。		GS	最大10文字		
149	予備C	3625	20	X	予備C(現況)を設定。		GS	最大10文字		
150	予備D	3645	40	X	予備D(現況)を設定。		GS	最大20文字		
151	予備E	3685	100	X	予備E(現況)を設定。		GS	最大50文字		
152	予備F	3785	400	X	予備F(現況)を設定。		GS	最大200文字		

△1…登記物件(家屋番号を設定時)の場合、必須入力

(*1)セットアップ「棟数カウントの設定方法(機能コード1:2109、機能コード2:0001、機能コード3:0000)0001:棟数カウントをそのまま設定」が設定されている場合

(*2)セットアップ「主たる用途従たる用途の管理方法(機能コード1:1019、機能コード2:0000、機能コード3:0000)」の設定値により、存在チェックの対象となるコードマスを切り替える。

(*3)セットアップ「登記管理システム連携(家屋)(機能コード1:5007、機能コード2:0001、機能コード3:0000)0001:使用する」が設定されている場合